



7月園だより

令和8年7月1日
目黒区立原町保育園園長

梅雨の時期、部屋の中でもいろいろな遊びが繰り広げられています。5歳児クラスに行くとテーブルの上に箱やトレイを組み合わせ坂道を作っています。「何してるの?」と問いかけると「流しそうめん」との返事がありました。「園長先生何色のそうめんがいい?」と色とりどりのチェーリングを見せて選ばせてくれました。容器にチェーリングを入れてトレイの坂道を滑らせますが、土台が弱く、バランスが崩れて倒れてしまいました。しかし積みなおすことを数回繰り返し最終地点のかごまで滑らせることができました。流れたそうめんは、おわんのつけ汁に付けて食べることもレクチャーしてくれ、おいしくそうめんをいただきました。経験を友達と工夫して再現する力に感心し、子どもの創造力をかきたてる材料、スペース等の環境作りをしていかなくてはと思いました。

2歳児クラスでは、みんながホールへ向かう支度を始めた時にじっくりマグネット玩具を積みかさね集中している子がいました。「たくさん重ねたね」と声をかけると「うん」と返事をしつつ重ね続けます。「みんなホールに行くみたいだけどどうする?」の声掛けに顔を上げて「行く」と言ってマグネットを全部重ね終えて満足したのか自ら片付けはじめ、担任とホールへ向かう準備をし、置いてあった図鑑を見て「〇〇ちゃんのだ」と言い、積み木を見て「〇〇ちゃんの携帯も」と知らせてくれました。友だちの好きなものをしっかりわかっているのだなとあたたかい友達関係が垣間見えて嬉しくなりました。

5、6月とお忙しい中懇談会にたくさんの方の参加をいただきありがとうございました。今後も保育の様子を伝え、子どもたちの成長を共に喜びあえたらと思います。よろしくお願いします。



7月の予定

1日(水) プール開き

7日(火) 七夕会

中旬 避難訓練・身体計測



楽しんでいる手遊び・ふれあい遊び～

0歳児クラス

「うまはとしとし」のふれあい遊びを楽しんでいます。足の上にまたがり小さな手で保育士の手をぎゅっと握ります。足を上下に動かしながら歌うと、保育士の顔を見ながら、にっこりとしています。



1歳児クラス

くるみぐみは「ぎったんぱっこん」の手遊びを楽しんでいます。長めのチェーリングと穴の開いた好きな玩具を組み合わせ左右に揺らしています。お友達がやっていると「やりたい」と集まってここにこしながら一緒に楽しんでいます。



2歳児クラス

「上から下からおおかせこい」というふれあい遊びを楽しんでいます。大きな布の下に子どもたちが入り、保育士が布の端を持って上下に揺らします。布の動きに合わせてフワッと風が起こると、子どもたちからは「キャー」と嬉しそうな声が聞こえてきます。





今好きな遊び ～3・4・5 歳児クラス～

3 歳児クラス 『虫探し』

「ダンゴムシいたよ」「てんとうむしだ」「ねえ、ほらかタツムリ」と虫探しが好きな子どもたちがたくさん捕まえていました。「もってかえりたい」という声があがり、クラスでの飼育が始まりました。ちょうど青虫を飼い始めていたこともあり、クラスには虫かごがいっぱいです。「あれ、いない？」と探したり、「なにこのねばねば」「これみみずだ(カタツムリのうんちです)」とそれぞれ毎日のそき込む中で、発見を楽しんでいます。先日はダンゴムシを捕まえ、ひっくり返してお腹を見ていた子が「たまご」とお腹に卵を持っているのを見つけ「みせてみせて」と一緒に探していた友達が集まってみていました。



はじめは触れなかった子も興味を持ってみたり、自分で触れてみる姿も見られるようになりました。観察したり、虫を捕まえたり、絵本や図鑑を見て捕まえた虫を見つけると「ねえ、みてみて」と保育士や友達と一緒に共有することも楽しんでいます。



4 歳児クラス 『お店屋さんごっこ』

チェーンリングをポップコーンに見立て、お店屋さんさんごっこが始まりました。「いらっしゃいませ」「なにがいいですか？」とポップコーン屋さんになりきっています。看板やメニュー表を作ると呼びかけの声も大きくなります。周りの子たちも興味を持ち始めて集まってきました。お客さんがメニュー表を見ながら、「いちご味をください」と注文すると「かしこまりました」「少々おまちください」とカップにポップコーンを盛ります。お店屋さんのカウンターの中でも「〇〇ちゃんトッピングおねがいします」と役割分担をしています。カップが選べるようになったり誕生日のサービスができたりとお店は日々進化していきました。その中で、はじめはポップコーン屋さんに興味がなかった子も毎日続いている光景を見ているうちに参加し始め、クラス全体にポップコーン屋さんごっこが広がっていきました。やりとりを通じて友達と関わる面白さを感じているようです。



5 歳児クラス 『ドッジボール』

春から楽しんでいるドッジボール、回数を重ねるごとにうまくなってきています。チームはその日によって違いますが、ゲームが始まる前にチームごとに外野を決めます。外野は人気なので、立候補がたくさんいていつもじゃんけんで決めますが、なかなか決まらずタイムオーバーになってしまうこともありました。試合を開始すると最初はボールが怖くてただただ逃げ回っていたのですが、この頃ではボールをキャッチしようと向かっていく姿があります。ボールに当たってしまうと悔し涙を流す子もありますが、ティッシュペーパーを持って励ましてくれる友達がいて、「次こそは頑張ろう」と泣き止みすぐに気持ちを切り替えています。先日、ほかのクラスと一緒にドッジボールをした時に、「逃げるときはバラバラになろう」「外野でボールをとったらすぐ投げよう」と声をかけていて、自分だけでなくクラスみんなで勝つにはどうしたらいいかと考える姿があり、今後が楽しみになりました。

